南房総三芳のシェア里山「ヤマナハウス」

YAMANA HOUSE

活動の場所	南房総市山名

活動目的

「里山リノベーション」シェア里山をテーマにメンバーで作り出す里山環境を提供

活動内容

ヤマナハウスでは月2回の定例活動で古民家の修繕やDIY作業、畑の開墾や草刈り、裏山の階段作りや木の伐採など、里山整備に関わる多様な作業を行っています。メンバーは地域外の普段は都心部で働いている方が多いため、自然が豊かな環境で休日に身体を動かすことが心身の健康にも繋がっています。

【地域課題を楽しく解決】
月2回の定例活動以外にも不定期で食や学びのイベントを行っています。イベントでは地域課題を解決することを隠れたテーマとして、食のイベントでは地元産の食材でも特に廃棄野菜や未利用魚、放置果樹、ジビエなどを使っています。学びのイベントでは空き家を活用するためのDIY講座、裏山を活用するための林業講座、獣害対策を促進するための狩猟講座などを行っています。

【関係人口の入口としての役割】
二地域居住や移住検討者などの関係人口になる方がイベントを通して参加した後、メンバーとなり地域との関わりを増やして行くことで実際に二地域や移住に繋がった事例があります。ヤマナハウスがその入口としての役割を持つことで里山への興味・関心層を増やしています。

PRしたいポイント

〇ヤマナハウスの取組内容は「地方創生」「希少種保全」「環境教育」「獣害対策」「フードロス対策」「里山保全」「企業研修」など多岐に渡ります。特に地方創生に関しては月2回の月例活動によって参加したメンバーが二地域居住から移住に繋がった事例が見られることから、関係人口の創出ができています。
〇希少種保全については、トウキョウサンショウウオの産卵場創出やサシバの生息調査などを行っています。

活動効果、今後の展開　等

〇メンバーは地元住民だけでなく、都心部在住の方が多いため、多様な人材が関わることで地元住民だけではできない里山の維持管理や新たな視点の提供などに繋がっています。
〇今後の展開としては、モニタリングサイト1000里地調査以外についても生物調査を詳細に行い、基礎データを収集します。それらのデータを活用して発信することで生物多様性保全を多角的に行う下地を作ります。

南房総三芳のシェア里山「ヤマナハウス」

https://yamanahouse.site/